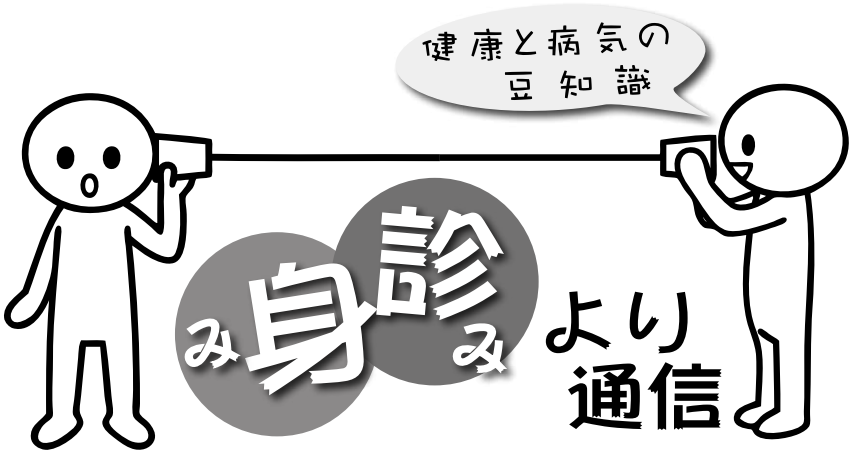

若年女性に多い“子宮頸(しきゅうけい)がん”

診療技術部　臨床検査科　臨床検査技師　五十嵐(いがらし)　勇太(ゆうた)

子宮頸がんは子宮の入り口付近（子宮頸部）にできるがんで、その 95％以上はヒトパピローマウイルス（以下、「HPV」）の感染が原因とされています。

HPV 感染そのものは珍しくはなく、感染者の多くは自身の免疫力で 2 ～ 3 年以内にウイルスは自然消失しますが、約 10% の人は排除できずに感染が長期化し段階的に子宮頸がんへと進行していく可能性があります。

「がん」と聞くと中高年の病気のイメージがあるかと思いますが、子宮頸がんは 20 ～ 40 歳代の若年女性に増加している病気で、中には発見が遅れてしまい、妊娠、出産を経験しないまま子宮を摘出しなければならなくなる方もいます。年間で約 1 万人が診断され約 3,000 人が亡くなっており、その発症率は他のがん年齢層と比較して若年層ほど多いことが分かっています。また、子宮頸がんを発症しても初期はほとんど自覚症状がありません。そのため、定期的に子宮がん検診を受け早期に発見し治療することが重要になります。

子宮がん検診は、婦人科医師が診察し先端にブラシのついた専用の器具等で子宮頸部をこすり、細胞を採取する検査（子宮頸部細胞診検査）で、細胞診専門医と臨床検査技師が細胞の形態を顕微鏡で観察し、がん細胞などの異常な細胞がないかを評価します。20 歳以上の婦人科症状(不正出血など)のない女性が対象で、２年に 1 度定期的な検診を受診することが推奨されています。もし、検診で「異常あり」という結果を受け取った場合は、医師の判断により病理組織診検査・細胞診検査・HPV-PCR 検査などを組み合わせて総合的に診断し治療を行うことになります。

なお、滝川市の子宮がん検診は、今年度は生まれ年が和暦で偶数年号の方（例：昭和 62 年、平成 2 年など）が費用助成の対象となっています。奇数年号生まれの方は来年度が費用助成の対象になりますので、しばらくお待ちください。また、国から HPV への感染を予防する「HPV ワクチン」の積極的な接種の呼びかけが今年 4 月から再開され、約 9 年ぶりに小学校 6 年生～高校 1 年生相当（12 ～ 16 歳になる年度）の女性を対象に始まっています。さらに、接種の機会を逃した 1997 ～ 2005 年生まれの女性や過去に接種して中断していた方も残りの回数は公費負担となります。これから子宮頸がんは“早期発見として検診”、“予防としてワクチン接種”を併用することが望ましいとされます。

当院婦人科は月曜日･水曜日･金曜日の午前中で診療･検査を受けることができます。この機会に子宮がん検診、ワクチンについて考えてみてはいかがでしょうか。

11月の救急医療機関

	外科休日当番医（8:30 ～翌 8:30）	歯科休日当番医（9:00 ～ 12:00）	電話番号	住所
3 日(木)	市立病院	若葉台病院	0125-75-2266	滝川市江部乙町 1452 － 1
6 日(日)	市立病院	歌志内ﾎﾜｲﾄ歯科ｸﾘﾆｯｸ	0125-42-4618	歌志内市字本町 1027 － 30
13 日(日)	滝川脳神経外科	みなみ歯科医院	0125-24-3734	滝川市西町 5 丁目 3 番 28 号
20 日(日)	市立病院	押尾歯科医院	0125-52-2811	砂川市西 2 条北 3 丁目 1 － 10
23 日(水)	市立病院	多比良歯科医院	0125-54-3510	砂川市東 7 条南 5 丁目 19 番
27 日(日)	滝川脳神経外科	小西歯科医院	0124-23-0102	芦別市北 2 条西 1 丁目 6 － 5

※市立病院…℡ 22-4311/ 大町 2 丁目 2 番 34 号　滝川脳神経外科…℡ 22-0250/ 西町 1 丁目 2 番 5 号
休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます（8:30 ～翌 8:30）。
平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル（℡ 22-2299）でお知らせします。